

産学官CIM・GIS研究会 2014年度以降の活動経過と今後の展望



岩崎フェアで



第5回産学官CIM・GISセミナーにて

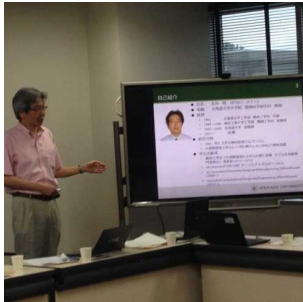
2014.6.10 第2回 産学官CIM・GISセミナー



基調講演の大阪大学大学院工学研究科の矢吹信喜教授は基調講演で「維持管理情報基盤としてのCIMの技術動向」と題して講演されました。2010年から始まった建築分野のBIMの試行プロジェクトの成功を受けて2012年度から、当時国土交通省の技監であった佐藤直良氏が土木版BIMとしてのCIMを提唱し国交省において試行が始まったCIMの概念、技術の歴史から建設分野の3次元化は必然であること、プロダクトモデルの重要性を語られ、業務プロセスの再構築による効率化とコストダウンにも大きく貢献できるものとしてCIMの重要性を訴えられました。

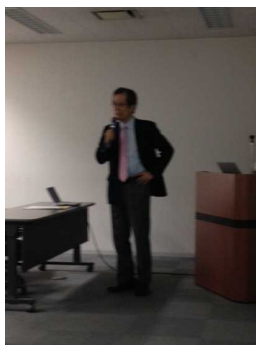
建設コンサルタンツ協会CIM技術推進委員会委員長の八千代エンジニアリング(株)情報技術部部長の藤澤泰雄氏は「CIM適用事例と業界の動き」と題してCIMによる建設事業の流れ、3次元モデルによる設計スタイル、平成24年度と平成25年度のCIM試行業務の取組み事例などについて語られました。

2014.7.3 産学官CIM・GIS研究会設立総会



- 北海道大学情報棟3Fの会議室において、産学官の関係者30名程が集まって「産学官CIM・GIS研究会」の設立と互いの情報交換を目的として「第1回 情報交換会」が開催されました。
- 最初に副座長に就任した北海道大学大学院情報科学研究科教授の金井理氏より「これまでのサイバー・フィールド研究会における取り組み紹介」として、3次元の計測技術、データ処理技術、データの表現技術等に関してこれまでの研究内容やなぜこの度、建設分野の3次元技術に注目するに至ったか、さらに既設の構造物の維持管理におけるCIMの有効活用について知見を述べられました。

2014.10.9 第3回産学官CIM・GISセミナー



- 当研究会座長の北大工学研究院横田弘教授より、「社会基盤施設の維持管理に関する施策と研究の動向」と題して基調講演をいただきました。横田教授は、6年前に北大に来られる前は運輸省におられ、港湾の設計や維持管理を専門にされていきました。講演ではCIMの分野は橋梁に関するものが多いのですが、港湾の構造物の維持管理における課題についてお話をされました。
- 現在国土交通省の維持管理の部会やメンテナンス戦略小委員会などに参加されており、国の最新動向についても伺いました。「笹子トンネルの天井盤崩落事故後、同様の事故が今後老朽化したインフラで起こるのでは、ないかという事で平成25年をメンテナンス元年と位置付けて、インフラの長寿命化計画の策定と充実を図ってきた。また平成26年度からは、維持管理に関する民間資格の認証制度を開始した。」と語られました。またライフサイクルマネジメントの流れを語られ、維持管理は設計と異なり、現実的な事象であり、制度や技術の確立、実装、展開等やるべきことは多いと語られました。CIMの活用とともに、技術者の育成や支援も重要であると語られました。

2014.11.13 第4回産学官CIM・GISセミナー



- 11月13日札幌市教育文化会館において、90名近くの参加者を得て、第4回産学官CIM・GISセミナーが開催されました。最初に、財団法人日本建設情報総合センター顧問の佐藤直良氏を迎えて「3次元モデルによる新たな社会インフラ管理の展望」と題して基調講演をいただきました。基調講演の中で佐藤顧問は、1・社会資本整備に係るここ10年の動向では、1)建設投資の減少と業界の縮小、2)設計・施工ミス・遺漏工事、3)指名競争から一般競争・総合評価へなどここ10年の建設業界の変遷を語られました。
- 2・様々な課題では、建設工事の生産性が他の産業と比べて劣っていること、次世代の担い手の確保が難しい現状などに触れられました。3・新しい芽として、1)新素材・新工法・プレハブ化について、2)情報化施工とCIM3)維持管理の時代など今後の新しい展開についても語られました。4・CIMのススメでは3次元仮想現場構想や、ICTを活用した社会資本等の管理、調達の考え方の転換について語られました。今後の業界を取り巻く環境の変化に対応した仕組みづくりの環としてCIMの重要性が語られました。

2014.12.16 第1回CIM講習会(ハンズオンセミナー)



(株)岩崎大会議室にて、道内外から20名程の参加者を迎えてAutoCAD Civil3Dによる地形モデルの作成・AutoCAD Civil3Dによる簡単な道路モデルの作成・Autodesk Revitによる簡単な構造物3Dモデルの作成

・Autodesk InfraWorksによる上記作成モデルの統合についての講習会を開催しました。好評のため、2015年度以降も定期的にこうしたハンズオンセミナーを企画していきます。

2015.3.2 産学官CIM・GIS特別セミナー



当研究会の顧問で大阪大学教授の矢吹信喜氏と株式会社コンポートの有賀社長をお迎えして、橋梁における設計、施工、更には維持管理も含めたプロダクトモデルIFC-Bridgeの動向と今後の維持管理への応用の可能性を考えるべく下記の要領で特別セミナーを企画致しました。矢吹先生は、IFC-Bridgeの開発経緯と現状や展望、有賀氏はスキーマとモデリング、北海道大学情報科学研究課の田中基文准教授は、ISOの規格とモデルデータの表現方法について、それぞれお話されました。

2015.4.28 第5回産学官CIM・GISセミナー



4月28日かでの2・7にて約100名の参加を得て、第5回の産学官CIM・GISセミナーが開催されました。そこで、この度平成26年～28年の維持管理段階までのCIMモデル構築にも携わっている大林組の杉浦伸哉氏をスピーカーに迎えて、産学官におけるCIM構築の取組み事例を伺うとともに、昨年より国土交通省の戦略的イノベーション創造プログラムを進めておられる北大・金井理教授に橋梁のプロジェクトの中間報告と、米国の視察報告を、更に株式会社砂子組の千葉大樹氏には、道内における情報化施工活用事例とCIMへのアプローチについてご紹介いただきました。

今後の活動予定

- 6月中旬 総会
- 6月24日 第2回CIM・GISハンズオンセミナー
- 6月26日 観光ICT・G空間シンポジウム
- 7月 情報交換会
- 7月24日 北海道産学官研究フォーラム/スマートアグリ研究部会 セミナー
(●8月24日 Civilユーザーグループ北海道分会 第1回ハンズオン)
- 9月上旬 第6回 産学官CIM・GISセミナー
- 9月16日 第3回CIM・GISハンズオンセミナー
(●10月14日 Civilユーザーグループ北海道分会 第2回ハンズオン)
- 11月 北大サスティナビリティウィーク
GIS研究会と共催
- 11月 第7回 産学官CIM・GISセミナー
- 11月18日 第4回CIM・GISハンズオンセミナー
- 12月 情報交換会
(●12月9日 Civilユーザーグループ北海道分会 第3回ハンズオン)
- 2月 第8回 産学官CIM・GISセミナー
- 3月9日 第4回CIM・GISハンズオンセミナー